

担当教官: 青山 亨(あおやま とおる). 東京外国語大学外国語学部インドネシア語
 研究室:633. オフィスアワー:月曜日2限. 電話:042-330-5300. メール:taoyama@tufs.ac.jp
 ウェブサイト:http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/aoyama/
 授業のお知らせ:http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/(右のQRコードでアクセス)



授業科目	アジア文化論 II 講義(専修専門・総合文化コース)
授業題目	東南アジア古典文化論(1)(6089)。2学期の東南アジア古典文化論(2)(6090)に続く。
対象学年	3年生(2年生も可)
開講学期	1学期
曜日・時限	木曜・4限
教室	115
共通科目など	地域専門科目・東南アジア課程(3532/3533)および専修専門科目・地域国際コース(7210/7211)と共通。多摩地区国立5大学単位互換制度対象科目。市民聴講生受け入れ。
授業の目標	東南アジアの古典文化は、土着の精霊信仰・祖先崇拜の基層のうえに、ヒンドゥー・大乘仏教をもたらしたインド文明の影響を強く受けている。この講義では、インドネシアのジャワの例を中心に扱いつつも、東南アジアの古典文化を概観し、現代社会にも力強く生きているこの「古典的文化」の特徴を学ぶ。
教材・参考書等	適宜プリントを配付する。参考書は授業中に指示する。
成績評価の方法	平常点(30%)と期末レポート(70%)で評価する。
受講上の注意	1. 「インドネシア文化論」演習を受講する者はこの講義を履修しておくことが望ましい。 2. 年度末までに引き取られなかった提出物は処分する。

授業計画(改訂版 2012-04-11)

週	トピック	内容
1 4月12日	ガイダンス。東南アジアの文化的多様性と その歴史的背景	講義の概要紹介。東南アジアの文化的多様性を理解する。その背景として東南アジアの歴史的枠組みとその中での「古典期」の位置づけを理解する。
2 4月19日	「東南アジア古典文化とは」	インドネシアの中部ジャワの宮廷文化を例にとりてイスラーム、インド文化、精霊信仰の重層性を理解する。【映像資料】『アジアの古都 ジョグジャカルタ』
3 4月26日	基層文化としての精霊信仰	東南アジアの基層文化としての精霊信仰を理解する。比較の対象として、日本との共通性も検討する。
4 5月10日	初期王権の成立	東南アジアに発生した自立的な王権の成立の過程を理解する。比較の対象として、日本の事例も検討する。
5【6限】 5月10日	映像資料鑑賞	1930年代のバリ島で撮影されたアメリカ映画の鑑賞。【映像資料】Legong: Dance of the Virgins. 1935. 65分. 二原色カラー。
6 5月17日	「長い助走期間」と 「爆発的な東漸」	モンスーンの発見による東西海上貿易の発達と、その結果としてのインド文化との接触について理解する。さらに、6-7世紀に起こったインド文化の「爆発的な東漸」を、アジア全域の現象として理解する。
7 5月24日	インドという土壌に育った宗教	インドという共通の土壌に育ったバラモン教、仏教、ヒンドゥー教について理解する。
8 5月31日	大乘仏教の伝播	仏教(密教レベル)に基づいて建設されたボロブドゥール寺院の構造と意味について検討する。【映像資料】
9 6月7日	大乘仏教の伝播	ボロブドゥール寺院の構造と意味について(続き)。【映像資料】
10 6月14日	ヒンドゥー教の伝播	ヒンドゥー教に基づいて建設されたプランバナン寺院の構造と意味について検討する。【映像資料】1学期期末レポートの課題発表。

11【6限】 6月14日	映像資料鑑賞	1930年代にベトナムで撮影されたアメリカ映画の鑑賞。【映像資料】Kliou: The Tiger、1937年公開、サイレント、白黒。
12 6月21日	ヒンドゥー教の伝播	アンコール王朝の歴史と意義を理解する。【映像資料】
13 6月28日	ヒンドゥー教の伝播	ヒンドゥー教に基づいて建設されたアンコールワット寺院の構造と意味について検討する。【映像資料】
14 7月5日	上座仏教の台頭	大陸部における上座仏教の台頭を説明する。【映像資料】
15 7月12日	インド化を考える	1学期のまとめとしてインド化について振り返る。1学期期末レポートの提出。

■1学期「東南アジア古典文化の広がり」

1) 導入

- ・東南アジア古典文化とは何か
- ・東南アジアの歴史の仕組み

2) 基層文化としての精霊信仰

3) インド文化の東漸

- ・「長い助走期間」と「爆発的な東漸」
- ・初期王権の成立

4) 大乘仏教の伝播

- ・インドという土壌に育った宗教: バラモン教、仏教、ヒンドゥー教
- ・ボロブドゥール寺院

5) ヒンドゥー教の伝播

- ・プランバナナ寺院
- ・アンコールワット寺院

6) インド化を考える

- ・「8世紀の仏教世界」

■2学期「東南アジア古典文化の物語世界」

1) 導入

- ・オリエンテーション

2) インド的世界観と歴史観

3) 神々の時代: 乳海攪拌

- ・アンコールワット

4) 人間対魔物: ラーマーヤナ

- ・プランバナナ寺院、ラーマキエン、スンドラタリ

5) 人間対人間—バラタ族の決戦: マハーバーラタ

- ・映画版、ワヤン

6) ブッダの生涯

- ・ビルマ語絵入り写本、ボロブドゥール寺院、ジャータカ

参考図書1: 東南アジアについての概要を知るためのもの

1. 石井米雄ほか監修. 2008. 『新版 東南アジアを知る事典』平凡社. 東南アジアについて効率よく調べるために便利な事典. 1986年初版の改訂版.
2. 事典シリーズ. 同朋出版社. インドネシア, タイ, フィリピン, ベトナムの4か国の事典が出ている.
3. 京都大学東南アジア研究センター編. 1997. 『事典東南アジア—風土・生態・環境』弘文堂. 2ページ見開きで東南アジアに関する主要な事項を解説した読む事典.
4. もっと知りたい東南アジアシリーズ. 弘文堂. 東南アジアの各国編が出ている.
5. 暮らしがわかるアジア読本シリーズ. 河出書房新社. インドネシア, ヴェトナム, タイ, マレーシア, ビルマ, フィリピン各国編が出ている. 生活に密着したテーマで構成された各国案内.
6. ○○を知るための50章シリーズ(国によっては50章でない場合もある). 明石書店. 東南アジアの各国編が出ている.
7. 歴史教育者協議会編. 1995. 『シリーズ知っておきたい東南アジア』1と2巻および『シリーズ知っておきたいフィリピンと太平洋』青木書店. 高校生を対象にした読みやすい概論.
8. 石井米雄・桜井由躬雄編. 1999. 『東南アジア史 I 大陸部』山川出版社. 最新の東南アジア大陸部の通史.
9. 池端雪浦編. 1999. 『東南アジア史 II 島嶼部』山川出版社. 最新の東南アジア島嶼部の通史.
10. 東南アジア学会ウェブサイト東南アジア関連リンク集も便利である【URL更新済み】.
<http://www.jsseas.org/link/gateway.html>

参考図書2: 講義の主題全体に関わるもの

- 青山 亨. 1997. 「古代ジャワ社会における自己と他者」辛島昇・高山博編『地域のイメージ』(地域の世界史 2). 山川出版社. pp.94-137.
- . 1998. 「インドネシアにおけるラーマ物語の受容と伝承」金子量重ほか編『ラーマヤナの宇宙』春秋社. pp.140-163.
- . 2001a. 「東ジャワの統一王権—アイルランガ政権からクディリ王国へ」石澤良昭編『東南アジア古代国家の成立と展開』(講座東南アジア史2)岩波書店. pp.141-167.
- . 2001b. 「シンガサリ=マジャパヒト王国」石澤良昭(編)『東南アジア古代国家の成立と展開』(講座東南アジア史2)岩波書店. pp.197-230.
- . 2005. 「南海の女王ラトゥ・キドゥル—19世紀ジャワにおけるイスラームをめぐる文化的表象のせめぎあい」『総合文化研究』8:35-58.
- . 2007. 「インド化再考—東南アジアとインド文明との対話—」『総合文化研究』10: 122-143.
- . 2008. 「口承文芸」「文学(古典文学)」「ラーマヤナ」. 『新版 東南アジアを知る事典』の項目.
- . 2010a. 「映画『オペラ・ジャワ』に見るラーマヤナの変容」『総合文化研究』13: 37-60.
- . 2010b. 「サンスクリット化」奈良康明・下田正弘・林行夫編『静と動の仏教』(新アジア仏教史4 スリランカ・東南アジア)佼成出版社.
- Heine-Geldern, Robert. 1956. *Conceptions of State and Kingship in Southeast Asia* (Data Paper 18), Cornell University.
- ハイネ=ゲルデルン、ロベルト. 1972. 「東南アジアにおける国家と王権の観念」(大林太良訳)大林太良編『神話・社会・世界観』角川書店.

追加(日本の状況と比較するための文献)

- 大野徹. 2001. 『日本人の神』(新潮文庫)新潮社.
- 末木文美士. 2006. 『日本宗教史』(岩波新書1003)岩波書店.
- 菅野覚明. 2001. 『神道の逆襲』(講談社現代新書)講談社.
- 山本ひろ子. 1998. 『中世神話』(岩波新書)岩波書店.
- 義江彰夫. 1996. 『神仏習合』(岩波新書)岩波書店.

東南アジア 11 か国一覧 (2012 年版)

国名	首都	人口	面積 (km ²)	公用語など	主な民族	主な宗教	その他
インドネシア共和国	ジャカルタ	24,232.6 万人	191.1 万	インドネシア語。その他ジャワ語、スンダ語など 706 言語。	ジャワ人 50%、スンダ人 20% 他 350 以上の民族、中国系。	イスラーム 86.1%、プロテスタント 5.7%、カトリック 3%、ヒンドゥー教 1.8%、仏教 0.8%。	
カンボジア王国	プノンペン	1,430.5 万人	18.1 万	クメール語 (カンボジア語)。その他チャム語など少数民族言語。	クメール人 90%、ベトナム人 5%、中国系 1%、チャム人。	仏教 84.7%、道教・儒教 4.7%、伝統信仰 4.3%、イスラーム 2.3%、キリスト教 1.1%。	
シンガポール共和国	シンガポール	518.8 万人	710	中国語 58.8% (北京語 35.0%)、英語 23.0%、マレー語 14.1%、タミル語 3.2%。	中国系 75.6%、マレー系 13.6%、インド系 8.7%。	仏教 42.5%、イスラーム 14.9%、キリスト教 14.6%、道教 8.5%、ヒンドゥー教 4.0%。	
タイ王国	バンコク	6,951.9 万人	51.3 万	タイ語。各地に方言。	タイ族系 (シャム族、ラオ族) 75%、中国系 14%、マレー系、クメール人、山岳少数民族。	仏教 94.6%、イスラーム 4.6%、キリスト教 0.7%。	
東ティモール民主共和国	ディリ	115.4 万人	1.5 万	テトゥン語、ポルトガル語。実用語にインドネシア語、英語。	テトゥン族など大半がメラネシア系。その他マレー系、華人。	カトリック 87%、プロテスタント 5%、イスラーム 3%、伝統信仰 3%。	
フィリピン共和国	マニラ	9,485.2 万人	30.0 万	フィリピン語、英語。170 以上の現地語、中国語。	マレー系 (タガログ族 28.1%、セブアノ族 13.1%、イロカノ族 9.0%、ビサヤ族 7.6%など)。中国系、スペイン系、少数民族。	カトリック 81.0%、プロテスタント 7.3%、イスラーム 5.1%。	
ブルネイ・ダルサラーム国	バンダル・スリ・ブガワン	40.6 万人	5,765	マレー語。英語、中国語。	マレー人 66.3%、中国人 11.2%、先住民族 (ドゥスン族、イバン族など) 6%。	イスラーム 64.4%、精霊信仰 11.2%、仏教 9.1%、キリスト教 7.7%、儒教・道教 3.5%。	
ベトナム社会主義共和国	ハノイ	8,879.2 万人	33.1 万	ベトナム語。チャム語、クメール語など少数民族言語。	キン族 (ベトナム族) 86.2%。53 の少数民族。	仏教、儒教、道教、キリスト教 7.2%、新宗教 (ホアハオ教、カオダイ教) 2.4%。	
マレーシア	クアラルンプール	2,885.9 万人	33.1 万	マレー語、タミル語、中国語、英語。	マレー系 (先住民族を含む) 65.1%、中国系 26.0%、インド系 7.7%。	イスラーム 60.4%、仏教 19.2%、キリスト教 9.1%、ヒンドゥー教 6.3%、儒教・道教 2.6%。	
ミャンマー連邦	ネーपीドー	4,833.7 万人	67.7 万	ビルマ語。その他カチン語、カレン語、シャン語、モン語など	ビルマ族 69%、シャン族 8.5%、カレン族 6.2%、アラカン族 4.4%、モン族 2.4%など 135 の少数民族。	仏教 72.7%、キリスト教 8.3%、イスラーム 2.4%、ヒンドゥー教 2.0%、精霊信仰 12.6%。	
ラオス人民民主共和国	ビエンチャン	628.8 万人	23.7 万	ラオス語	低地ラオ族 68%、丘陵地ラオ族 22%、高地ラオ族 9%。	仏教 67%、キリスト教 1.5%。	
日本	東京	12,623.0 万人	37.8 万	日本語	日本人、朝鮮人、中国人、日系ブラジル人、アイヌ人	仏教、神道、キリスト教	

出典：『データブック・オブ・ザ・ワールド—世界各国要覧と最新統計 2012 年版』二宮書店、2012 年。